

今月は「肢体不自由」

肢体不自由とは

上肢(腕や手)、下肢(脚)、体幹(筋肉を含む胴体)のまひや欠損などにより、日常生活動作や姿勢の維持などが不自由になる障害です。障害の部位や程度には個人差があります。

障害の原因はさまざまで、事故や病気によるもの、脳や脊髄などの神経の損傷によるもの、先天性の疾患によるもの、関節などの変形からなるものなどがあります。脳に損傷を受けた場合には、言葉の不自由さや記憶力の低下などを伴うこともあります。肢体不自由の中でも、脳性まひ、脊髄損傷、筋ジストロフィーなどで全身に障害が及ぶものを「全身性障害」といいます。

こんなことに困っています

○歩道や通路に、十分なスペースがなかったり、ちょっとした段差や障害物があったりするために移動できないことがあります。

○障害者用駐車場スペースが空いていないと車の乗降が難しい場合があります。

○手指や手・腕が無かったり、まひがあったりする人は、文字を書く、お金を扱うといった細かな手先の作業が難しい面があります。

○脊髄損傷の方には、感覚の低下や喪

失、体温調整が困難な方がいます。

○脳性まひの方の中には、顔や手足などが自分の思いとは関係なく動いてしまう(不随意運動)ため、自分の思いを伝えるにくい方もいます。

○食べること、飲み込むことが困難(嚥食嚥下障害)な方もいます。

こんな配慮をお願いします

○さりげなく声をかけ、どんな手助けが必要か気軽に尋ねてみましょう。障害の部位や程度により、困っていることに対応することが大切です。

○車イスに乗っている人の介助では動きが予測できるよう、事前に「動きます」「右に曲がります」などの声をかけましょう。

○必要な方以外は、障害者用駐車場スペースに駐車しないようにしましょう。

○言葉がうまく話せない人に対して、子どもに対するような接し方をしないようにしましょう。また、聞き取りにくい場合は、わかったふりをせず、内容を確認しましょう。

○サポートには、「見守り」という間接的な対応もあります。その人のペースで、ゆっくりと対応しましょう。



安心・安全な毎日のために

庄原消防署
☎0824・72・9911

花火は楽しく安全に!

子どもたちにとって夏の身近な風物詩「花火」。

しかし、気軽に楽しめる花火の原料は火薬であり、取扱い上の不注意から毎年事故が発生しています。

火災や火傷などの事故が起こらないよう十分注意し、夏の楽しい思い出しましょう。

1 花火に書いてある遊び方をよく読んで、必ず守りましょう。

2 花火を人や家に向けない、燃えやすいものがある場所ではしないようにしましょう。特に、衣服に火がつかないように注意しましょう。

3 風の強い日は花火で遊ばないようにしましょう。

4 終わった花火は水バケツを用意して、完全に消火しましょう。

5 子どもだけでなく、大人と一緒に遊びましょう。

平成27年度 庄原市総合防災訓練を実施します

災害から住民の生命と財産を守るとともに、地域における自主防災体制の推進を図ることを目的に、平成27年度庄原市総合防災訓練を実施します。

訓練は、非常に強い台風の来襲により、庄原市で記録的短時間大雨が観測され、大規模な土砂災害が発生したと想定し、市、西城自治振興区、庄原市消防団をはじめ、各関係機関が協力して10種目の訓練を実施します。この訓練では、広島県防災ヘリコプターも飛来します。

とき 8月30日(日)
9時30分～12時(小雨決行)
※当日の気象状況などにより、中止される場合があります。
ところ 庄原市西城町大佐西城球技場および周辺一帯

